

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能事業所まいはーとここあ高取	公表日				令和	8年	1月	13日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・部屋を有効活用して、使い分けをしている。 ・クールダウンできる部屋がある。					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		室内はバリアフリーとなっています。 子どもに分かりやすく構造化し、視覚支援等を行っています。	もう少し視覚支援を充実させたいと思います。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		お子様が快適に活動に取り組めるよう、日々環境整備や空間づくりを提供しています。 毎日消毒等行っています。					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の部屋があり対応できる環境を整えています。					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日々の申し送りの際に振り返りを行い、当日の支援の仕方や、業務担当を決めるなどして参画しています。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価アンケートにより、業務改善につなげています。					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		申し送りの際や、会議、個別面談を行い、意見が言える環境を整え業務改善に繋がるよう努めています。					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、第三者による外部評価は行われていません。いずれ設置できるよう努めます。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			開催される諸研修への参加を進めています。法人内での研修等の実施する機会を増やしていきたいです。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、ホームページに公表しています。					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○							
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員間で話し合う機会を作り、共通理解を図っています。					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			支援開始前の職員間の話し合いの中で、子どもの状況などにより計画以外の対応をさせてもらう事があります。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			保護者の方にアセスメントをいただき支援を行っています。現在アセスメントツールの使用はなく、今後取り入れていきたいと思っています。				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			放課後等デイサービスガイドラインの、具体的な支援内容については、個別支援計画書に設定しています。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		その日の活動について話し合いを行い、チームとして業務にあたっています。					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動内容の話し合いを行い、固定化されないよう個々にあった療育を提案しています。					

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		適宜行い、子ども達が楽しいと思える活動を、組み合わせながら提供し支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に申し送りと、話し合いの時間を設け、当日の役割分担を確認し、支援の内容等共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終了後の振り返りを行っています。次の日の支援開始前に振り返りが統一できるよう申し送りで伝え共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々、支援の内容を記録し、職員間で共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的な中間評価を行い、職員間で支援会議を行うなどし、見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		法改正後、より意識して支援をするよう努めています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育る力を育てるための支援を行っているか。	○		課題等、複数用意しており、自己選択ができるように支援しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者や管理者が参画し、打ち合わせや職員会議などで共有しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			協力医療機関との連携は取っています。色々な関係機関との連携を今後増やすよう努めていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校・保護者の方と連携を取り、確認をするようにしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		相談員や保護者の方を通し、情報共有できる場を設けていきたいと考えています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			卒業後、当事業所への移行に関しては、十分に情報を提供しています。他事業所への移行の際も提供するように努めています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		研修等開催される場合、積極的に参加するようにしています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		放課後児童クラブや児童館との交流はありませんが、地域との交流会などには参加しています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		積極的に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に直接お話しをしています。メールや電話でも情報交換をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		現在は行っていないが、将来的に、家族支援プログラムを実施できるよう努めていきたいです。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明させてもらい、疑問点や質問に対しては丁寧にお答えしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談やモニタリングを通して確認する機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		放課後デイサービス計画に元づいた支援計画を作成し同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時、お話を伺い対応させていただいています。	

保護者への説明等	40	<p>父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。</p>	○		<p>・保護者会につきましては、事業所合同での開催や、各事業所での開催を行っています。</p> <p>・令和7年には初の「ここあ祭り」を行い、保護者さん同士の交流や、きょうだい同士の交流の場が提供できたと思います。</p>	<p>きょうだい同士の交流の機会をもう少し増やしていきたいと思います。</p>
	41	<p>こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。</p>	○		<p>苦情などの申し入れがあった場合は職員同士で話し合い、迅速に対応できる体制を整えています。</p>	
	42	<p>定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。</p>	○		<p>毎月、活動内容や行事の予定を通信で配布しています。また、ホームページにて連絡体制等の情報を公開しています。</p>	
	43	<p>個人情報の取扱いに十分留意しているか。</p>	○		<p>個人情報に関する誓約書を職員全員交わし、日々の業務の中でも十分に留意しています。</p>	
	44	<p>障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。</p>	○		<p>意思疎通が難しい場合はジェスチャー等使い保護者の方に相談させてもらいながら配慮をしています。</p>	
	45	<p>事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。</p>		○		<p>現在まで実施していませんが、今後検討していきたいです。</p>
非常時等の対応	46	<p>事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。</p>	○		<p>事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対応マニュアルの作成をしています。避難訓練を定期的に行っています。</p>	
	47	<p>業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。</p>	○		<p>非常災害発生時の避難訓練を年3回行い、日々の活動の中でも子どもに分かりやすく、紙芝居やパネルシアターを使い緊急時の知識を深めています。</p>	
	48	<p>事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。</p>	○		<p>保護者の方から確認し、その場の状況に応じて対応しています。</p>	
	49	<p>食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。</p>	○		<p>医師の指示書がある場合、提示してもらい対応しています。</p>	
	50	<p>安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。</p>	○		<p>安全計画を作成し、職員全員で周知し、訓練等行っています。研修等、積極的に行っています。</p>	
	51	<p>こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。</p>	○		<p>基本情報の管理をし、緊急時に持ち出せるよう説明をし、同意してもらってます。</p>	
	52	<p>ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。</p>	○		<p>作成し、共有しています。再発防止に向けた話し合いの時間を設けています。</p>	
	53	<p>虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。</p>	○		<p>虐待防止委員会を設置し、研修を行っています。</p>	
	54	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。</p>	○		<p>身体拘束について契約時に説明させていただき、同意を得ています。また、身体拘束を行った場合、保護者の方への報告と、身体拘束日報への記入を行っています。</p>	